



昭和感漂う雰囲気満載の時計店!!

ちょっと気になる“お店”～職人編～

～創業40年を超える長年の経験と実績～

＜平和町大通り商店街＞

矢部時計店

〔 Information 〕

- 場 所：金沢市平和町2丁目2-15
- 営業時間：9時00分～19時00分
- 定 休 日：月曜・日曜・祝日
- 電話番号：(076) 241-4710



巷では「時計のお医者さん」「博士」「ブラックジャック」「先生」…等と呼ばれる「スゴ腕な職人」がいるお店『矢部時計店』を、今回は是非とも個人的に自信を持って御紹介したいと思います。

超高級ブランド腕時計を集めるのが好きな方(趣味の方)は、固定された専門ショップやメーカー代理店等に修理やメンテナンスを頼まれるとは思いますが、一般的に出回る腕時計等をお使いの方には、使っているうちに不都合(不具合)が生じた際や電池切れになり、時計が止まってしまった場合にどうされていますか？また、暫くの期間使わずに放置されていた場合に修理が必要となったり、最悪の場合に修理が無理と言われるケースもあって、あきらめてタンスの片隅に眠らせた経験はありませんか？もしかしたら「ゴミ」として処分された方も多いのではないのでしょうか(特にクォーツ(電池)式の腕時計)。勿体ない……。

海外旅行先で購入したもの、親からの譲りもの、初めて貰った給料で買ったもの、大切な彼女(奥さん)から戴いたもの、夢焦がれて手にした超ブランド時計、壊れていても捨てられない思い出が残るもの、愛着心が強いもの、カラダの一部となっているもの……様々な人生模様(歴史)が垣間見れるのが『腕時計』の存在感&安心感であり、一緒に人生を歩むパートナーとしてだけでなく、男のダンディズム(お洒落)の必需品としても欠かせないアイテムの一つであります(個人論)。

この「矢部先生」時計店が、必ずしも100%全てを元通りに修理(直せる)訳ではありませんが、もしも、もう一度『命を吹き込むこと』が可能であるならば……と思った際には、是非一度尋ねて下さい。

今の時代(現代)は携帯電話や電子機器等の普及が進んでおり、時間を見るためにだけに腕時計を付ける習慣は無くなりつつあるのかも知れませんが、こだわりのある世代の人達には「生涯を共に過ごす」大切な宝物として『唯一無二』の存在だと確信しています。

大切な「腕時計」を長く使い続けるには、部品修理・部品交換・電池交換等を含め、何よりも定期的なメンテナンスが必要不可欠であります。腕時計は特に、一見正常に動いているように見えても部品をスムーズに動かす潤滑油の汚れ及び部品の接触等による摩耗で、本来の機能を果たせていない可能性が多くあります。それを放置し続けることで、故障や時間の狂いが生じて「時計本来の寿命」まで縮めてしまう最悪な結果を招きかねません。少なくとも、3年～4年に一度はオーバーホール(時計の健康診断)をオススメします。

最近では、メーカー修理が断られたり、修理費用が軒並み高騰していたりで「時計の修理を躊躇する」ケースが多くなっています。しかしながら、機械式時計は継続的に「メンテナンス」させれば、数十年以上使用し続けることが可能であり、時計内部の消耗パーツを交換するだけでも、未然に大きな故障を防ぐことが出来ます。時計＝相棒♥

＜時計の主な不具合症状＞

- ① 時間の遅れ、進みが頻繁にある
- ② 時計を振るとカタカタ(異音)がする
- ③ 時計の内側(内部)が曇っている
- ④ 電池交換したばかりなのに動かなくなる



COLLECTION★BOX

Point

金沢の時計職人が大切な時を蘇らせる & 数年に一度レベルの大寒波到来!!

真冬の厳しさ!! 本格的な寒さを実感



気象庁によれば、2021年に入って最初の3連休である1月9日(土曜)～11日(月曜)が明けて、本格的な冬シーズンを迎えた金沢市内に降り積もった雪の深さは59cmとなり、3年前(2018年)の大雪を記録した際に降った87cmに迫るものであり、金沢市では、除雪後の雪を集める場所が不足し、臨時の「排雪場」を3年ぶりに開設しました。

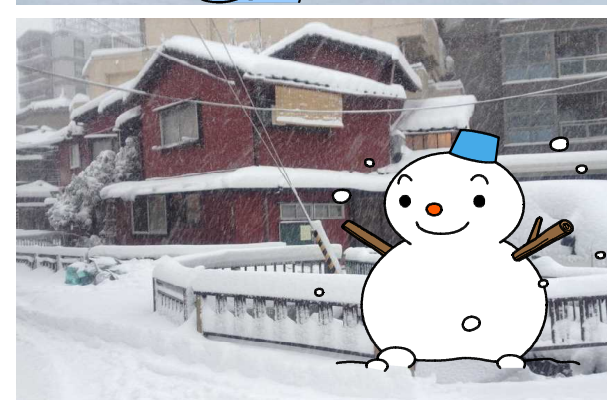
今回の「数年に一度レベルの寒波」による、冬の嵐に猛吹雪が連日続くなかで、市内は一面が真っ白に様変わりし、朝の通勤時間帯から大混乱となる日が続き、バス路線および幹線道路等の除雪された場所を求め、クルマが一気に集中したこともあり、立ち往生による大渋滞(長い列)が起き、一般の生活道路には除雪が全く追いつかず、金沢市役所には市民からの「除雪を求める電話」が多く寄せられ対応に追われました(ゴミ回収の問合せも含む)。

町会によっては、独自に「業者」への除雪依頼を行って対応したケースもあり、業者自体も24時間体制による除雪作業の依頼に追われる緊急事態となり、今季の最強寒波は「大きな爪痕」を残すものであります。

この寒波は、北陸3県(富山・福井・石川)のゴミ収集業務にも大きな影響を与えており、富山県および福井県でも想定を超える大雪のため、場所によっては3日間～1週間の可燃ゴミ収集を中止、不燃・資源等の収集中止を余儀なくされ、狭隘な場所にある集積所(ゴミステーション)は未回収の状態(中止)となり、地域住民の生活に多大な負担を与える結果になっています。



金沢市におけるゴミ収集に関しては、雪が乱雑に踏み固められた(圧雪状態)道路には収集車両が入れないため、収集作業員がブルーシートおよびカンメート等を使用して、人力による手作業にてゴミを運ぶ状況下となり、収集時間に大幅な遅れが生じ、連日の疲労困憊も計り知れないものとはなりましたが、ほぼ金沢市内全域にわたり、作業を効率よく分担しながら「ゴミ回収」に全力を尽くすことが出来たかと思えます。



ここ2年間は、とても積雪量が少ない(ほぼ降らない状態)冬に慣れてしまっていた途端に、年明け早々からの異常気象とも言える「災害レベルの寒波」は、本当に辛い痛手となって我々に重くのし掛かりました。

まさに、毎日が通勤ではなく『痛勤』であったと感じる程に、体力・気力とも消耗がピークに達しています。

融雪装置がある道路や大型の路線バスが通る目抜き通りでは、二車線幅が保たれておりクルマが普通に通行出来ていますが、殆どの道路が車線幅減少に伴い「すれ違い」が困難を極める状態でしたので、ここまでの雪が降り積もると、クルマの運転にはより気を遣い、神経を磨り減らすことになります。特に住宅が密集している地域の住民、高齢者世帯(独り暮らし)が多い町会等には非常に厳しい1年のスタートとなり、コロナ禍の中での大きな不安や絶望感に更なる「災難」がプラスされ、自然の猛威が容赦なく襲いかかる事態です。

除雪車が作業した歩道や路肩の『雪壁』が、その高さによる圧迫感(威圧感)を感じさせるためか、とても「金沢の風情ある雪景色」を楽しむ余裕もなく、唯々、雪国で生活続ける我々には『宿命』とも言える悲しい現実(季節)を、個人的には苦痛にさえ感じています。

皆さんにとって「今年の冬」は如何ですか？

自治労

N市従労
NEWS

第153号

発行2021年2月1日

金沢市従労組 情報宣伝部